



●稲敷市・姉妹都市交流委員会広報紙●

姉妹都市

— 世界は君を待っている —

Sister Cities



サーモンアーム

No. 12
2007. 3

姉妹都市提携 調印式典

Sister City Signing Ceremony



姉妹都市提携に新たな調印

～稲敷市・サーモンアーム市の交流～

平成18年3月27日、稲敷市とサーモンアーム市とを結び姉妹都市提携に関する盟約の調印式が行われました。

新市誕生以前、旧東町で積み上げてきたこの交流は15年にも及びましたが、新市になって待たれていた新たな調印がついに実現しました。

稲敷市長の高城功氏と、サーモンアーム市長代理のマーグケンテル氏とが参加者多数の見守る中、無事提携のサインを済ませました。この瞬間、両者がにこやかに握手をし、厳粛

な中にも大きな拍手が湧き上がりました。今年も3月末には、22名の学生がサーモンアーム市から稲敷市にやってきます。日本の家庭での生活を味わっていただく中で、生活習慣を知り、伝統文化に触れて楽しい時間を共有できれば最高です。どんな友達が来るのだろうか、どんな出会いがあるのだろうか、今からわくわくドキドキ、胸がどどります。そのために、積極的な受け入れと心の準備を進めておきたいものです。





「感謝」

派遣団長 石井 道朗
第2回青少年親善大使の団長として
貴重な体験ができた関係各位の皆様方に
心から感謝申し上げます。

団長の重責とホームステイへの不安。しかし、サーモンアーム市の人々の熱心な対応に、この不安は日を追うごとに薄らいでいきました。そのお陰で、無事大役を果たすことができました。感謝で一杯です。このような形での交流が末永く続くことを願う一人となりました。

2006 サーモンアーム＜友情を風にのせて＞いなしき

派遣 (H18.8.17～8.27)



「友情の門」の前にて

受入れ (H18.3.26～4.2)



東中学校で剣道体験

第1回 受入ホストファミリーの皆さん

薄井 基(中1 境 島)	木内 和希(中1 福 田)
根本 彩花(中2 橋 向)	甲賀あすか(中2 東大沼)
中川 弥紀(中3 八筋川)	藤ヶ崎友実(中3 押 砂)
高城 沙織(中3 上須田)	高城 千尋(大1 上須田)
森田 菜保(大2 町 田)	篠崎 英喜(中1 月出里)
鈴木 大(高2 佐 倉)	勝山 美生(中1 月出里)
岡田 歩美(高3 沼 田)	根本 安里(中1 神宮寺)
松田 麗(中1 岡飯出)	笠口紗友里(中1 飯 出)
根本莉佳子(中2 神宮寺)	中村 康人(中2 下根本)
大黒 文也(中3 伊佐津)	手塚裕之介(中3 伊佐津)
小島 結子(中2 柴 崎)	大山 舞子(大1 下根本)
田口 善一(一般 下太田)	村田 義明(一般 結 佐)
根本 攻(一般 東大沼)	吉田 薫(一般 伊佐部)
黒田 保彦(一般 上須田)	清水 美香(一般 上根本)

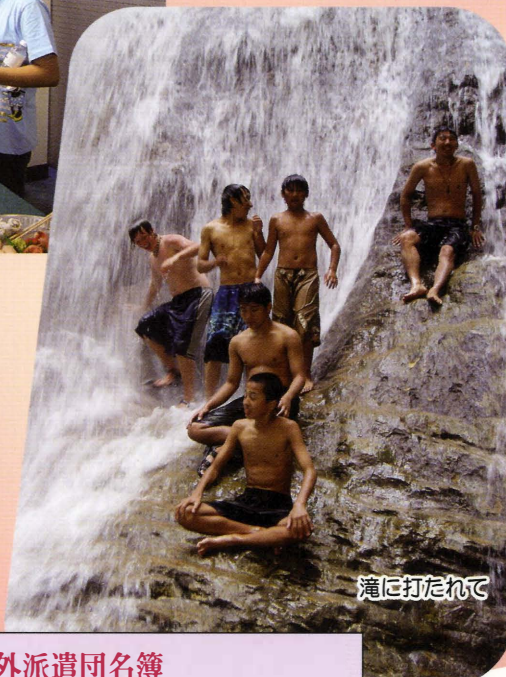
(*学年は受入時)



ジャクソンキャンパスにて昼食会



手づくりケーキでさよならパーティー



滝に打たれて

コロンビア大氷原見学



雪止車に乗って



ラフティング



ディズニーランドにて



成田山門にて



お茶のおけいこ



ドキドキの対面式



さよならパーティーにて



浅草仲見世でショッピング

第2回 稲敷市青少年親善大使海外派遣団名簿

団 長 石井 道朗(江戸崎中学校校長)	指導員 橋爪 智(新利根中学校教諭)	指導員 田中久弥子(桜川中学校教諭)
木内 和希(中2 福 田)	中川 咲希(中3 八筋川)	宮本 直人(高2 釜 井)
若林 拓哉(中1 南ヶ丘)	呉東 都(中1 江戸崎)	佐々木 理菜(中1 江戸崎)
梶山 孝史(高1 江戸崎)	黒田 奈樹(中1 浮 島)	佐藤 美幸(中1 神宮寺)
根本菜奈子(中1 神宮寺)	小貫 佑介(高2 浮 島)	黒岩 良太(中2 寺 内)
池田 浩輔(中2 柴 崎)	宮本 翼(中2 伊佐津)	寺田 純(中2 太 田)
小倉 美幸(中2 柴 崎)	大黒 亜実(中2 伊佐津)	宮崎 真子(中2 柴 崎)
柳町 奈都(中2 柴 崎)		

派遣時の主な交流スケジュール

- ・歓迎式
- ・「友情の門」見学
- ・ジャクソンキャンパス訪問
- ・ラフティング
- ・さよならパーティー
- ・パンフ等観光
- ・コロンビア大氷原観光

小 貫 佑 介

今まで海外に行ったことがなく、到着するまでは楽しみと同時に不安も大きかったです。しかし、現地に着くとカナダの皆さんが温かく迎えてくださったおかげで、不安はすぐに払拭できました。今回の派遣で得た経験を、今後の進路に生かしていきたいです。

小 倉 美 幸

私は、この国際交流を通して様々なことを教えてもらいました。文化のちがいが、大きな自然、楽しく接してくれたホストファミリー、一歩違う国へ行っても日本とこんなにちがうことを知りました。このことをもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。

受入れ時の主な交流スケジュール

- ・対面式
- ・中学校交流会
- ・成田観光
- ・東京1泊研修
- ・(ディズニーランド、浅草見学 など)
- ・さよならパーティー

篠 崎 英 喜

受入れをして、初めは年が離れている事もあったりどうすればよいかと戸惑いましたが、一緒にサッカーをしたりゲームをするにつれて、緊張感がなくなり、気軽に声をかける事ができました。また、チャンスがあれば、いろんな人と交流したいと思いました。

高 城 厚 子

私の家では元気な高校生2人を受け入れました。こちらの心配をよそに彼女達はすぐにうちとけ、食べ物や着物、剣道など日本のもの何にでも挑戦していました。サッカー観戦では、みんなで応援したチームが勝利して大喜び。楽しくあっという間の8日間でした。



〈プロフィール〉

サーモンアーム高等学校の教員として日本語教育にも携わり、サーモンアーム親善使節団の通訳員として今回が稲敷市への4度目の訪問となる。

今回の稲敷市訪問への準備を進めるにあたり、私達は既に生徒達の喜びと興奮を肌で感じています。私にとって4度目の訪問になりますが、今回もこの喜ばしい交流に参加出来ることを光栄に思っています。姉妹都市委員会の一員である私は、青少年親善大使の皆様が来訪された時に、ホームステイを楽しんでいらしたことをよく覚えています。特に、異なった文化に遭遇した生徒達が、戸惑いや恥じらいを克服しながらもホストファミリーと懸命に交流し、そこから芽生える友情を目の当たりにするのは本当に素晴らしいことです。生徒達から、いかに楽しく、より長く滞在したかったか等の体験談を聞く度に、この交流の為に費やす企画や実行の苦労などすっかり忘れてしまいます。この場を借りて、稲敷市姉妹都市交流委員をはじめホストファミリーの皆様のご厚意と努力に厚くお礼申し上げますと共に、来たる8月のご来訪を心よりお待ちしております。

交流事業に携わる喜び

ダン・デローサ

As we prepare our students for our visit to Inashiki-shi, I cannot help being affected by their excitement. This will be my fourth trip with our students and every year I am fortunate to witness the joy brought on by our exchange. As a member of the Salmon Arm - Inashiki Twinning Committee, I also get to witness the reaction of our Japanese guests as they enjoy their homestay in Salmon Arm. It is wonderful to see students from our two different cultures interacting, overcoming their initial awkward shyness and finding ways to communicate. I am always pleased to see how many of the students bond closely with their host families and how many friendships develop. Listening to the students talk about how much they enjoyed the stay and how they want to stay longer, makes all the effort that goes into the planning and organization worthwhile. I would like to take this opportunity to thank the Inashiki Twinning Committee and all the host families in advance for their hard work and kindness. We look forward to another wonderful stay and to hosting the Inashiki students in August.

交流の記録を手形に記して

2006年4月1日、サーモンアーム市と稲敷市との新たな交流の始まりを記念して、友情の手形が設置されました。1990年の旧東町とサーモンアーム地域(オカナガン・シュースワップ第83教育委員会)との青少年相互交流の開始当初から、多大な尽力をいただいた関係者の手形と直筆の署名が記されています。



サインするダグ・ピアソン教育長



友情の手形

1990年(平成2年)の東町とサーモンアーム市との姉妹都市結結に尽力され、以降、永年にわたって両行政と両教育機関ならびに青少年の親善交流に対し、継続的にご協力をいただきました友人たちに心より感謝申し上げます。

稲敷市とサーモンアーム市との新たな姉妹都市調印に際し、その記念として、ここに手形を記します。

ウェイン・スペンサー

オカナガン・シュースワップ第83教育委員会指導官

ダグ・ピアソン

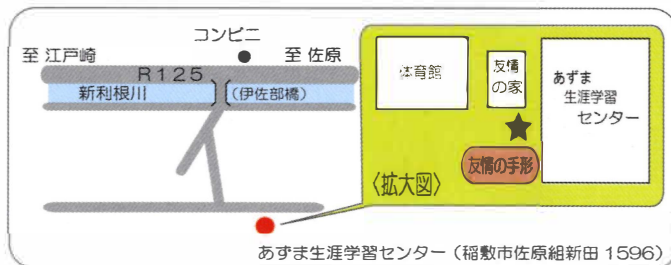
オカナガン・シュースワップ第83教育委員会教育長

2006年4月

稲敷市姉妹都市交流委員会

友情の手形に設置されているプレート

友情の手形は生涯学習センター脇にある「友情の家」に隣接して設置されていますので、是非ご覧下さい。



INFORMATION

○「友情の家」貸出し

交流の一環としてサーモンアーム市から贈られた「友情の家」(あずま生涯学習センター隣)では、バーベキュー等が楽しめます。利用希望者は、あずま生涯学習センター:0299-79-0053へお申し込み下さい。

○会員募集! あなたも国際交流しませんか?

稲敷市内で国際交流に関わる各団体の会員を募集しています。

- ・姉妹都市交流委員会……姉妹都市派遣事業、ホームステイ受入事業など稲敷市の実施する幅広い姉妹都市(サーモンアーム市)との活動に協力するとともに、民間交流活動を展開しています。
- ・稲敷市日中友好協会……昭和52年の設立以来、筑波大学への留学生や市内に生活する中国の方々との交流活動や中国への訪問団派遣などの活動を行い、本年は設立30周年を迎えます。
- ・日本語サークルかぼちゃ……週に1回、市内及び近隣に住む外国人を対象に、日常会話を中心とした日本語を教える活動をしています。問い合わせ・申込みは企画課(029-892-2649)まで

○稲敷市ホームページをご覧ください

稲敷市が姉妹都市交流委員会等の協力を得て実施する姉妹都市交流事業(海外派遣・受け入れ)の記録等については、稲敷市ホームページ<http://www.city.inashiki.lg.jp/>内(部課～企画課)に掲載されています。

青少年親善大使派遣、サーモンアーム使節団受け入れの募集についても、広報紙と併せてホームページにて公募致します。

編集後記

■昨年3月、調印式が行われ、稲敷市として初めての交流事業が実施されました。サーモンアーム市からの受け入れ、稲敷市からの派遣に際し、多くの方々の参加やご協力をいただき、感謝しております。“もっと沢山の中高生に貴重な体験をしてほしい”そう願いながら、この広報紙を皆様のもとへお届けします。皆様からのご意見、お待ちしております。(根本)

■編集 稲敷市企画課国際交流担当
姉妹都市交流委員会広報委員